

大館地区更正保護 婦人会が発足

世の中には、罪を犯した人や、非行に陥る一歩手前の少年たちがたくさんおられます。

このような人達を母親としての立場から愛の手をさしのべ、明るい社会の仲間に入ってもらおうとする母親たちの会「大館地区更正保護婦人会」が発足しました。会員は、大館、花矢、田代、比内の各市町の有志の婦人53人で構成されており、あかるい社会をめざそうとするこの会の活動が大いに期待されています。

会はこれから、広く地域の人々の理解と協力のもとに、つぎのような活動を積極的におしすすめ、更生保護事業の進展に役立てようとしています。



具体的な活動

- ◆ 対象者に対する職場の開拓
- ◆ 更生資金の貸与
- ◆ 衣類の給与
- ◆ 施設収容者に対する慰問、激励
- ◆ 保護司会と協力し、婦人、少年相談所の開設。
- ◆ 対象者の家族、生活困窮者などへの内職のあっせん。

大館新生活運動協議会が主催する大館合同年祝会（旧市内の33才、42才、62才の年祝）が2月1日、市民体育館において関係者330人の出席のもとに盛大に行われました。

昨年までは、42才とか62才の方々はそれぞれ別に年祝いを行なってきましたが、ことしのように、33才42才、それに62才の方々が一同に会してお祝いしたのは大館ではじめての試みでありました。

新生活運動にちなんで、1人の会費が2500円ということであり、また、各家庭では特別に年祝いを行わないというこの合同年祝いは、参加した厄年の方々からも非常に好評を得ておりました。

この日は、年賀祭司奏上などの祭事や祝宴、そして余興として、大館ばやし、民謡日本一などの披露、記念写真の撮影などで意義のある厄ばらいの日を送り、お互いに健康に留意しながらそれぞれの分野でいままでも以上に活躍することを誓いあいながら解散しました。

なお、大館合同年祝会（会長、石川勝男氏）では、年祝いの記念事業として、いま建設中の勤労青少年ホームの玄関前に、このホームにふさわしい立像をご寄附してくださいました。市としてもこの皆さんの厚意に対して心からお礼を申しあげ、管理の徹底をはかりながら、この立像を青少年ホームのシンボルにしたいと考えています。（写真、盛大だった合同年祝）

もうすぐ1年生

元気に通学させるために

待ちに待ったわが子の入学の日も近づいてまいりました。

この日をどんなにかみんなで待っていたことでしょう。ほんとうにおめでとうございます。

子どもにとって小学校へ入学するということは大変なことです。それだけに入学期にはご家庭でも十分に気をつけて、子どもの新しい出発がうまくいくように心がけてほしいものです。

そこで、入学前の指導の主な点をあげてみました。

◆ 交通事故から守るために

- ① 右側を歩く。
- ② 交通信号をおぼえ、これを守る。
- ③ 横断するときは手を上げてとおる。
- ④ 「きいろい旗」のつかい方をおぼえる。
- ⑤ 車のうしろからとびださない。

◆ からだの準備

- ① 予防接種など忘れずに受ける。
- ② 身体の故障など入学前に手当しておく。
- ③ 起床、洗面、食事、排便、就寝など規則正しい生活をさせる。
- ④ 「はみがき」の習慣をつける。

◆ 入学前にしつけて

おきたいしつけ

- ① 自分の名前が書ける。
- ② 呼ばれたら『ハイッ』と返事ができる
- ③ 衣服を1人で着たりぬいだりできる
- ④ 自分で用便ができる。
- ⑤ 食事が1人ででき、できるだけ好き嫌いをなくする。
- ⑥ 遊んだあと、あとしまつができる。
- ⑦ 友だちとなかよく遊べる。

◆ 親として

- ① むりに文字や数字をおぼえさせない
- ② よろこんで学校にいけるようにしむける。
- ③ 子どもの長所短所をよく知っておく
- ④ 持ちものにはすべて名前をつける。（下着などにも）
- ⑤ 登校、下校はいつも同じ道を歩かせる。（安全を考えて）
- ⑥ 子どもの持ちものは高価なものではなく、じょうぶなものを持たせる。

◆ 学用品について

- ① 学用品は各学校から連絡があると思いますので、この指示によって購入してください。
- ② 教科書は入学のときに無償でおあげいたします。

徹底してきた新生活運動

大館初の合同年祝盛大に開かる

